

マンホール・管口点検の新技术「管診鏡」



一般社団法人
管路診断コンサルタント協会

《問い合わせ先》

〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル

☎ 03-5810-1921 FAX 03-5810-1922

E-mail: info@kanshinkyou.jp URL: https://www.kanshinkyou.jp/

一般社団法人管路診断コンサルタント協会（管診協）は、2020年11月より「管診鏡（かんしんきょう）」の販売を開始しました。「管診鏡」は、既設マンホール内および管口を地上から高画質のカメラを用いて撮影・点検するもので、安全に、早く、正確に、低コストで劣化状況を把握することができる新技术です。

管診鏡は、「管診鏡MC（マンホール用）」と「管診鏡PC（管口用）」の2種類があります。どちらも最大6mの伸縮ポールの前に、高画質カメラと強カライトを付属した製品です。撮影用タブレット等とカメラをWi-FiやBluetoothで接続することにより、マンホールに入孔することなく、地上から撮影・画像確認ができるため、作業員の安全性も高く、感染症リスクの低減にも寄与します。管診鏡を使用することで、高画質な画像データを収集・整

理でき、既存管路施設の定量的予測に基づいたリスク評価が可能となります。このため、当該下水道施設の現状を十分加味した対策を立案することができ、ストックマネジメントの実効性の向上につながります。

また、詳細調査を実施する管路を高い精度で特定できることから、事業者の点検費用をより効果的に運用することも可能になると考えられます。

管診協では、管診鏡を用いた下水道管路点検調査に関する設計委託業務の積算基準（標準歩掛）を2020年に策定し、今年度に改訂版を発刊しました。これにより、コンサルタント自らも管路調査を行い、同時に診断業務も行うことで更なる信頼性向上に期待ができます。

管診鏡MC

マンホール点検用360°カメラ

- 360°ライトと360°カメラでマンホール内部を鮮明に撮影
- マンホールに入ることなくマンホール内部の状況・異常の有無・程度を把握
- 地上からリアルタイム映像確認
- 必要箇所は静止画撮影、キャプチャー処理で保存

作業イメージ

管診鏡PC

管路点検用高解像度管口カメラ

- 高解像度カメラと強カライトで管口から管路内部を鮮明に撮影
- マンホールに入ることなく安全な管路点検調査を実現
- 地上からリアルタイム映像確認
- 動画・静止画対応
- 必要箇所はズームで詳細確認

作業イメージ